

教育委員会だより

第 67 号 令和 2 年（2020 年）3 月 15 日

編集発行 山北町教育委員会学校教育課

〒258-0195 山北町山北 1301-4

TEL 0465-75-3648



「山北町立学校の働き方改革に関する方針」を策定しました

近年の社会環境の急激な変化に伴い、学校が抱える課題は学習指導のみならずより複雑化・困難化しています。このような中、国や県が実施した学校教員の勤務実態調査において、看過できない長時間勤務の実態が明らかとなり、国や県では、教員のこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めています。

山北町教育委員会でも、すでに校務支援システムの導入や夏季・冬季休業期間の学校閉庁日の設定及び留守番電話対応などを行ってきていますが、令和 2 年 2 月 26 日の教育委員会において「山北町立学校の働き方改革方針」（国や県の動向、国の方策や県の指針を参考）を策定しました。山北町における学校の働き方改革の実現に向けた目標と、具体的な取組から 4 項目についての概要をお伝えします。



- ★目標 ○在校等時間（時間外勤務）を、1ヶ月あたり 45 時間、1年あたり 360 時間以内
- 年次休暇一人あたりの取得日数の年平均 15 日以上確保
- 山北町立学校に係る部活動の方針の遵守

★勤務時間について

- ・ICカードによる勤怠管理システムの活用による勤務時間の客観的な把握と適正な勤務時間の見直し
- ・平日勤務時間外の留守番電話対応

★教員の意識改革について

- ・働き方改革の視点を盛り込んだ学校経営計画の策定
- ・業務効率化や働き方改革に関する研修の情報提供、タイムマネジメントに対する意識改革の推進

★学校における業務改善について

- ・家庭・地域と学校の連携・協働を推進するコミュニティスクール機能の強化
- ・統合型校務支援システムやICT機器の整備と、より効果的な活用（各種書類等のデータ化等）による業務軽減

★人員体制について

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用、臨床心理士や教育専任指導員等の専門スタッフの継続配置
- ・特別支援学級介助員、学習支援員等の継続配置

取組へのご理解とご協力をお願いいたします。



ユネスコ無形文化遺産登録に向けて

2月19日に開催された国の文化審議会無形文化遺産部会において、“山北のお峯入り”を含む「風流踊」が、本年度のユネスコ無形文化遺産（人類の無形文化遺産の代表的な一覧表）への提案候補として選定されました。

「風流踊」とは、趣向を凝らした衣装で笛や太鼓などで囃し立て、賑やかに踊るなど全国各地で傳承されている民俗芸能であり、国指定重要無形民俗文化財である37件の民俗芸能で構成されています。神奈川県内では、三浦市の“チャッキラコ”と“山北のお峯入り”の2件が含まれています。

今後、国の無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において審議され、3月末にユネスコに提案書を提出し、令和4年頃審査される可能性が高いとのことです。



交流を深める2校の小学生

山北町では、川村小学校と三保小学校の交流を行っています。1月15日(水)には、川村小学校を会場に1～4校時の授業と給食とおした初めての全校交流が行われました。今年度の交流は、今回で2年生2回、4年生4回、5年生5回目、6年生6回となります。

各学年に分かれた8人の三保っ子の中には、はじめは少し緊張していた子もいたようですが、川村小の仲間との授業の中で自分らしさをどんどん発揮していく姿が見られました。

来年度は、統合後の子どもたちのスムーズな関係づくりに向けて全校交流をさらに多く計画しています。



三保小のみんなで作った「ようこそ三保へ」の歌を、4年生の音楽の時間に披露しました。

国の新型コロナウイルス感染症対策として、小・中・高及び特別支援学校における全国一斉の臨時休業を要請する方針が内閣総理大臣より示されました。このことを受けた文部科学事務次官通知をもとに、山北町では次のとおり臨時休業を行っています。保護者の皆様への状況変化による対応情報は、各園・学校からのメール配信等で行っていきます。感染拡大を防止するための臨時休業措置である趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

1 臨時休園・休校対象

こども園1号認定 幼稚園 小学校 中学校

2 臨時休業期間

令和2年3月3日(火)～3月25日(水)

※今後の状況により期間変更となる場合あり

※学童保育は実施

3 卒園式・卒業式

各園・学校により規模を縮小して予定日に実施

山北の子どもと体力

令和元年度の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査報告(小学校5年生・中学校2年生が対象)」が、令和2年1月に公表されました。山北の子どもたちの結果は、ほとんどの種目で全国、神奈川県を平均を上回りました。また、「体を動かすことは好きですか」という質問に対し、8割を超える子が「好き」「やや好き」と肯定的に回答しています。山北町で取り組んでいる幼児教育での運動遊び研究の成果が表れていると考えます。

今後も、健やかでたくましい子どもたちをはぐくむ教育・保育を推進していきたいと思ひます。



教育委員会の審議事項

令和2年(第1回～第2回・協議会)

○第1回(1月22日)

- ・教育長報告
- ・山北町教育研究事業助成金交付要綱の制定について

○協議会(1月22日)

- ・山北町立学校の働き方改革に関する方針(素案)について
- ・令和元年度生涯学習センターフェスティバルについて
- ・令和元年度冬の星座教室について
- ・第65回山北町内一周駅伝競走大会について

○第2回(2月26日)

- ・教育長報告
- ・山北町学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について
- ・山北町青少年指導員規則の一部を改正する規則の制定について

- ・山北町体育施設建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

- ・山北町立学校の働き方改革に関する方針について

- ・令和2年度当初予算案の概要(教育費)について

○協議会(2月26日)

- ・令和元年度山北町立幼稚園卒園式、小・中学校卒業式日程について

- ・令和4(2022)年度からの成人式について

- ・第74回足柄上地区一周駅伝競走大会の結果について

- ・第74回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について

- ・令和元年度スプリングスクールについて(文化財講座Ⅱ含む)

- ・第63回山北町親睦ゴルフ大会について

- ・新型コロナウイルス対策について